

令和 8 年大井町議会第 2 回定例会

一般質問書

令和 8 年 6 月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分) 時間	頁
1	・ 町政運営の総括と今後の町政に対する考えについて	笠井裕太	6 0	1
2	・ 放課後児童健全育成の推進について ・ 学校における道徳教育について ・ 自治会活動の支援について	黒岩陣太郎	5 0	2
3	・ 高齢化の進行による移動手段の確保について ・ 町内の美化について	岡田幸二	5 0	3
4	・ 富士山及び箱根山の火山災害対策について ・ 地域のつながりづくりと孤独・孤立対策について	清水亜樹	6 0	4
5	・ 町立認定こども園計画について ・ 町内3小学校のあり方について	大石 舞	6 0	5
6	・ 公共施設用地に係る借地の現状と町が保有する低未利用地について ・ 役職定年制度について	鈴木磯美	5 0	6
7	・ 火山噴火災害への対策について	諸星光浩	5 0	7
8	・ 認定こども園整備における子どもの最善の利益と住民との合意形成のあり方について	重田有紀	6 0	8
9	・ 公共サービス・公共施設の統廃合について ・ 町内のヤングケアラーについて	鈴木武夫	4 0	9

質問者	通告1番	通告時間 60分
	1番 笠井 裕太 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. 町政運営の総括と今後の町政に対する考えについて		<p>1. 本町は人口減少・少子高齢化の進行、公共施設の更新、多様化する行政ニーズへの対応、自然災害の頻発など多くの課題に直面している。加えて、AIなどのデジタル技術の進展により、時代の転換期にある。小田町長の2期8年の成果と実績や町民からの評価を踏まえ、今後の町政運営の方向性、残された任期における重点施策を問うとともに、今後の町政に対する考え、及び小田町長の3期目を含めた進退について伺う。</p> <p>(1) 町政運営において重視してきた基本姿勢は。</p> <p>(2) 公約の進捗状況は。</p> <p>(3) 残された任期における課題と優先すべき重点施策の方向性は。</p>

質問者	通告 2 番	通告時間 50 分
	5 番 黒岩 陣太郎 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 放課後児童健全育成の推進について	<p>1. 共働き世帯やひとり親家庭等、昼間就労等のため、保護者が不在となる児童に対し、安全で安心な居場所を提供するための児童コミュニティクラブでは、児童福祉法の改正や共働き世帯等の増加により入所者数の増員が見込まれるが、支援員の増員など、運営や安全対策について伺う。</p> <p>(1) 預り時の保護者との情報共有はどのようにしているか。</p> <p>(2) 地域との連携を強化し地域社会全体で児童を支えるための取組みは。</p> <p>(3) 心理的なサポートに配慮しストレスや不安を軽減するための取組みは。</p> <p>(4) より質の高い支援を行うための増員やスタッフへの研修、サポート体制は。</p>	
2. 学校における道徳教育について	<p>2. 教育現場における道徳教育は心の成長や社会性の発展において非常に重要である。そのことから本町の学校の道徳教育について伺う。</p> <p>(1) 道徳教育のカリキュラムの実施状況は。</p> <p>(2) 教員の研修と支援体制は。</p> <p>(3) 児童生徒の道徳心の育成に向けた具体的な取組みは。</p> <p>(4) 道徳教育の成果は。</p>	
3. 自治会活動の支援について	<p>3. 自治会役員の負担軽減のため本年度よりアプリを導入するが、具体的な活用について伺う。</p>	

質問者	通告 3 番	通告時間 50分
	9 番 岡田 幸二 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. 高齢化の進行による移動手段の確保について	<p>1. 免許返納なども含めて、自主的な移動手段を持たない方が増えている。特に独居の方は他人の力を借りなければならず、苦労は絶えない。町はフレイル予防のためにも外出を促しており、健康で充実した生活を送る上での支援について伺う。</p> <p>(1) 移動手段のない高齢者が地域イベント等に参加しやすくなるよう、福祉的な外出支援や送迎支援の考えは。</p> <p>(2) ゆめバスの休日運行などの活用は。</p> <p>(3) いわゆるシニアカーなどの購入助成の考えは。</p>	
2. 町内の美化について	<p>2. 町内美化に関し、草刈りなどの作業に支障が出ているが、その対策について伺う。</p> <p>(1) 相和地区は顕著であり、傾斜地などは危険を伴うケースもあるが現状及びその対策は。</p> <p>(2) 自治会加入率も減少する中、美化運動推進に対する考え方並びに助成制度を見直す考えは。</p> <p>(3) 町民ボランティアを募り、年間を通じた町全体の美化運動の取組みは。</p>	

質問者	通告4番	通告時間 60分
	12番 清水 亜樹 議員	答弁者 町 長
質問事項		要 旨
1. 富士山及び箱根山の火山災害対策について		<p>1. 近年、富士山ハザードマップの改訂や箱根山の火山活動などを踏まえ、火山災害への備えの重要性が高まっている。本町地域防災計画においても、富士山及び箱根山の火山災害対策が位置付けられていることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 富士山及び箱根山噴火における本町の被害想定は。</p> <p>(2) 避難対象区域や避難行動について、避難行動要支援者への対応を含め、どのように想定しているのか。</p> <p>(3) 降灰の除去や集積、処分の体制は。</p> <p>(4) 噴火警報や降灰予報などの情報伝達体制及び、平時からの備えに関する周知啓発は。</p> <p>(5) 町外への広域避難が必要となった場合の受入自治体との調整状況は。</p>
2. 地域のつながりづくりと孤独・孤立対策について		<p>2. 昨年、町社会福祉協議会が孤独・孤立対策推進事業として実施した「地域のつながり実態把握調査」では、地域のつながりや外出頻度などと孤独・孤立感との関連性が示された。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 今回の調査結果を町としてどのように受け止め、今後どう取組むのか。</p> <p>(2) 調査では、外出頻度が低いほど孤独・孤立感が高い傾向が示されたが、外出支援の状況は</p> <p>(3) デジタル活用を地域のつながりづくりや見守り支援へ活用する考えは。</p>

質問者	通告 5 番	通告時間 60分
	4 番 大石 舞 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 町立認定こども園計画について		<p>1. 町立認定こども園は、今年度施政方針において「未来の大井町に向けた次世代支援プロジェクト」と位置づけられた。この町の未来に期待し、地域の誇りと一体感を次世代へつなぐ「未来への投資」と記されている。</p> <p>この施政方針に沿うならば、町民の要望に基づいて計画を進めるべきだと考えるが、見解は。</p>
2. 町内3小学校のあり方について		<p>2. 2020年から約1年かけて、大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会が開催された。その後町は2023年広報おおい3月号に、相和小学校について「今後5年間の児童数等の状況を見定めた中で検討する」こと等を明記した。</p> <p>3年が経過した今年5月、教育委員会で町立3小学校の今後のあり方等が検討された。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 5年を待たずに検討に至った経緯は。</p> <p>(2) 学校選択制や町内3小学校の体制についてどう考えるか。また教育振興基本計画との関連性は。</p> <p>(3) 今後の進め方やスケジュールは。</p> <p>(4) 相和小学校の存在意義や地域との関わりについて、町の認識は。また送迎手段や小規模特認校の周知について改善は。</p> <p>(5) 大井小と上大井小の学区について、見直しや保護者アンケートをとる考えは。</p>

質問者	通告6番 10番 鈴木 磯美 議員	通告時間 50分
		答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
1. 公共施設用地に係る借地の現状と町が保有する低未利用地について	1. 公共施設のあり方については統廃合を含めて具体的な検討が進められていると思うが、財政負担の軽減や資産の適正化を図るべきと考え、次のとおり伺う。 (1) 道水路等の生活基盤施設を除く公共施設用地について、借地の現状は。 (2) 公共施設用地を取得又は返還する計画は。 (3) 町が保有する低未利用地の現状は。 (4) 低未利用地の活用や処分に向けた今後の方針は。	
2. 役職定年制度について	2. 従来は60歳であった公務員の定年は、段階的に引き上げられ、令和13年度には65歳となる。同時にスタートした管理監督職勤務上限年齢制、いわゆる役職定年制度について、次のとおり伺う。 (1) 管理監督職でなくなった職員はどのような業務を担っているのか。 (2) 役職定年制のメリット・デメリットをどのように考えているか。 (3) 役職定年制を見直し、管理監督職についても上限年齢を引き上げる考えは。	

質問者	通告7番 2番 諸星 光浩 議員	通告時間 50分
		答弁者 町長
質問事項		要旨
1. 火山噴火災害への対策について		<p>1. 本町は、箱根連山と富士山を望む風光明媚な町である。富士山は、その穏やかで美しい姿を見せる一方で、300年以上にわたって噴火が起きていないことから、警戒感が高まっている。また、箱根山における火山活動の活性化も看過できない状況にある。そこで本町における火山噴火災害への対策について伺う。</p> <p>(1) 富士山火山避難基本計画や箱根山火山避難計画の地域防災計画への反映状況は。</p> <p>(2) 降灰や溶岩流に対する避難対策への取組みは。</p> <p>(3) 降灰におけるライフラインの維持は。</p> <p>(4) 火山噴火災害を反映させたハザードマップを作成する考えは。</p> <p>(5) 火山噴火災害を踏まえて、町の備蓄を再検討する考えは。</p>

質問者	通告 8 番	通告時間 60 分
	6 番 重田 有紀 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項		要 旨
<p>1. 認定こども園整備における子どもの最善の利益と住民との合意形成のあり方について</p>		<p>1. 認定こども園整備計画は度重なる計画変更がなされ、それに伴い、在園児は第二幼稚園園舎で卒園できるという当初方針も変更されることとなった。そのため、在園児を第二幼稚園園舎で卒園させたいと強く願う保護者や住民から、開園時期の見直しを求める声が上がっている。こども基本法では、子どもの最善の利益を最優先に考慮することが基本理念として示されている。また、文部科学省の幼稚園教育要領においても、幼児が安心感や信頼感をもって生活できる環境や、発達の連続性の重要性が示されている。幼児期の生活環境の継続性をどのように考え、子どもの利益を最優先とした開園時期の判断を行うのか、また住民との合意形成をどのように図っていくのか、以下何う。</p> <p>(1) 幼児期の生活環境の継続性は。 (2) 在園児への影響の検討は。 (3) 子どもの最善の利益と開園時期の判断は。 (4) 保護者との合意形成は。 (5) 保護者からの要望書への対応は。</p>

質問者	通告9番	通告時間 40分
	3番 鈴木 武夫 議員	答弁者 町 長
質問事項	要 旨	
1. 公共サービス・公共施設の統廃合について	<p>1. 公共サービス・公共施設の統廃合について問う。</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画及び公共施設等個別施設計画の改定の進捗状況と計画の進捗管理は。</p> <p>(2) 町が所有している空地の現状は。</p> <p>(3) (仮称)新湘光公園を活用するために、新たな施設を整備する考えは。</p> <p>(4) 第6次総合計画後期基本計画と第3次実施計画では、施設の長寿命化の推進を進めることになっているが、既存施設の統廃合について具体的な計画がない。公共施設の統廃合は検討されないのか。</p>	
2. 町内のヤングケアラーについて	<p>2. 町内のヤングケアラーについて問う。</p> <p>(1) ヤングケアラーの町の現状は。</p> <p>(2) ヤングケアラーに対して町の支援と対策は。</p>	